

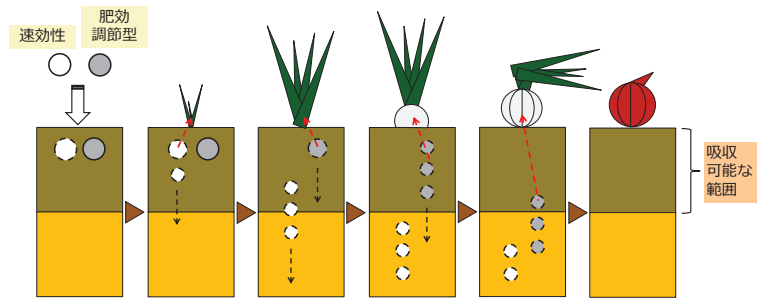
多雨でも安心 移植たまねぎの省力窒素施肥法

概要 Abstract

分施を省略しても移植たまねぎの収量を安定して得ることができる省力窒素施肥法を明らかにしました。

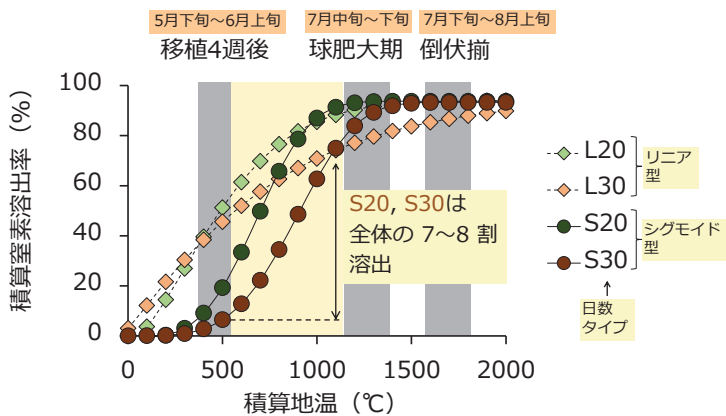
生育推移に合わせた窒素供給

- 速効性肥料：生育初期の窒素供給に有効
ただし降雨で溶脱しやすい
- 肥効調節型肥料：必要な時期に溶出することで無駄を抑制できる

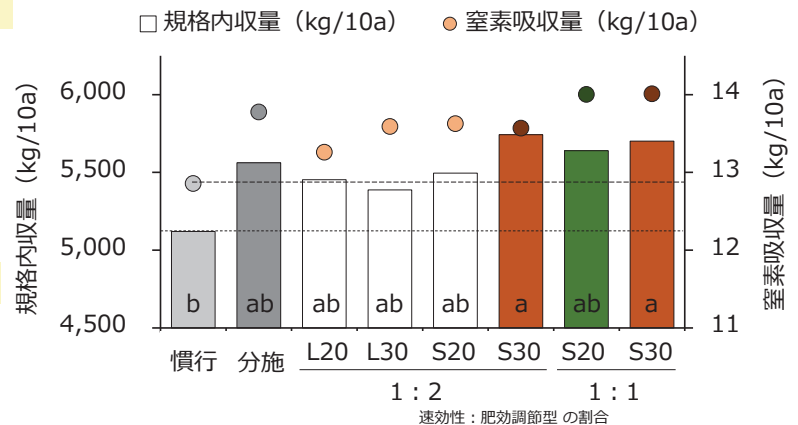


成果 Results

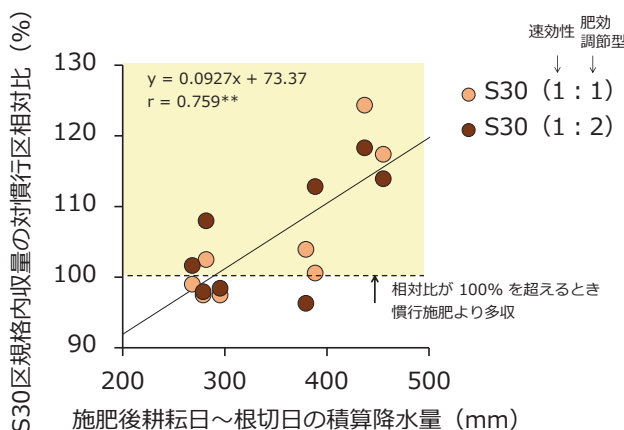
1 肥効調節型肥料：シグモイド型は生育おう盛な 移植4週後～球肥大期の窒素供給に有効



2 速効性肥料と肥効調節型肥料の組み合わせで収量確保



3 降水量が多い条件でも収量確保が可能



◎ 収量性は S30 が最も高い

◎ 窒素吸収量は 1 : 1 が多い

*慣行：基肥で全量速効性肥料，分施：基肥：分施=2：1で施用
窒素施肥量は15kg/10a
規格内収量は異なる英文字間で有意差あり (p<0.05)

普及 Dissemination

- オホーツク地域・品種「北もみじ2000」以外では事前に効果を確認してから利用してください。

連絡先 Contact

北見農業試験場
研究部 生産技術グループ
0157-47-2146
kitami-agri@hro.or.jp